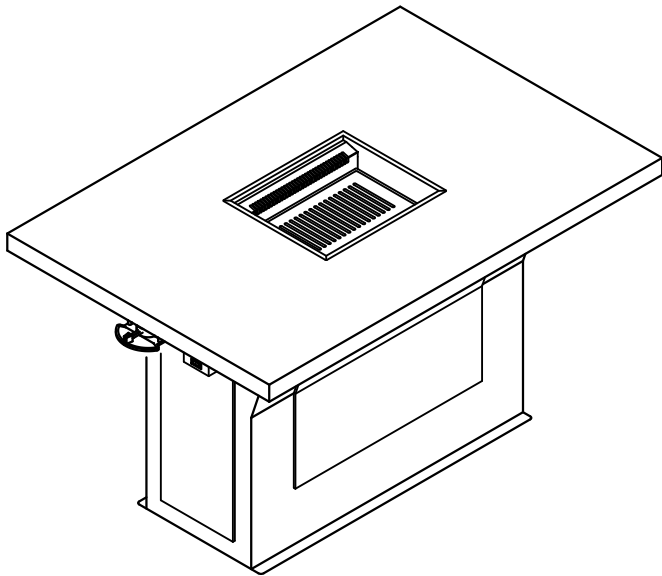


業務用

ガス無煙ロースター 角型ロストルタイプ

製品番号 MDR-140



このたびは、ガス無煙ロースター 角型ロストルタイプを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。




目次

特に注意していただきたいこと	1～3
各部の名称と仕様	4～6
設置について	7
ご使用方法	7～9
防火ダンパー・温度ヒューズ点検と交換	10
日常の点検・お手入れ	11～12
故障・異常の見分け方と処置方法	13
長期間使用しない場合	14
アフターサービスについて	14

家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使い頂くためや、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



触手禁止



火気禁止



分解禁止



一般的な注意



高温注意



必ず行う



換気必要

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

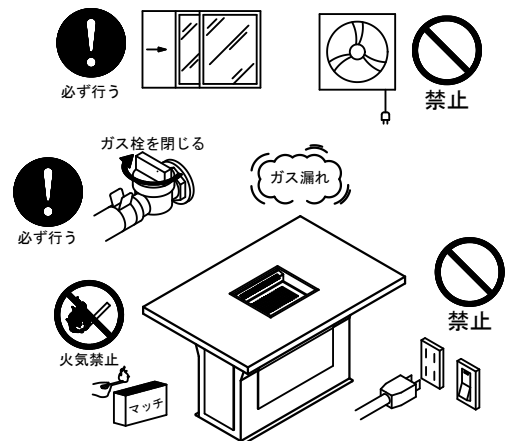
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、機器の器具栓とガス栓を閉じてください。
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出してください。
- ③ お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。



⚠ 警告

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。



必ず行う

使用後は消火と、器具栓つまみが「閉」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じる。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発のおそれがあります。

■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れにて火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。



必ず行う

機器内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また炎口が詰まったり消耗したバーナは、未点火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。

■ 使用ガス及び使用電源についての注意

必ず形式銘板(機器正面右に貼付)に表示しているガス(ガスグループ)及び電源(AC100V)を使用する。転居したときも、供給ガスの種類・電源が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。

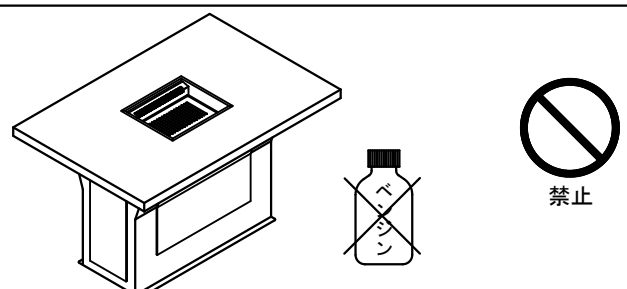
例：都市ガス12A, 13Aの場合

品番	MDR-140-04	
形式名	MDR-140	
都市ガス	12A, 13A用	
ガス消費量	12A	2.70kW
	13A	2.90kW
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格消費電力	2.4W	
	00.00-000000	
山田金属工業株式会社		

■ 火災注意



スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。機器の周囲にスプレー缶を置かない。



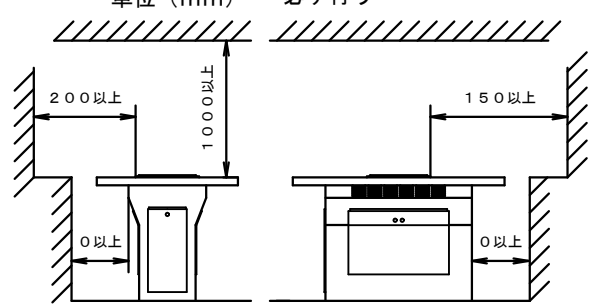

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告


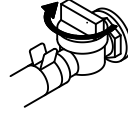

<p>■火災予防</p> <p>火をつけたまま離れない。</p>  <p>禁止</p> <p>調理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因となります。</p>	<p>■火災予防</p> <p>機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。</p>  <p>禁止</p> <p>焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。</p>
--	---

<p>■火災予防</p>  <p>必ず行う</p> <p>水槽が空だきにならないよう、水量に注意する。</p> <p>空だきになりますと水槽に溜まった油に引火し危険です。</p>	<p>■火災予防</p> <p>設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。</p>  <p>必ず行う</p>  <p>単位（mm）</p>
<p>■火災予防</p> <p>グリスフィルター（エキスパンドフィルター）および飾り枠内部の清掃を必ず行う。</p>  <p>必ず行う</p> <p>溜まったままの油脂分に引火し、火災のおそれがあります。</p>	

■異常時の処置



使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずに機器の器具栓つまみを「閉」の位置にしガス栓を閉じて使用を中止する。

操作つまみOFF ガス栓を閉じる

必ず行う

故障・異常の見分け方と処置方法（12ページ）に従ってください。

<p>■換気に注意</p> <p>外部送風機を運転するか、換気扇を回すなどして必ず換気をする。</p>  <p>換気必要</p> <p>不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。</p>	<p>■換気に注意</p> <p>換気口、吸気口は常に確保し、物などでふさがないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。</p>
---	--

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

⚠ 注意

■ 使用上の注意

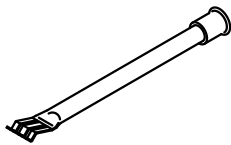
点火操作時や使用中はバーナ付近に顔を近づけ過ぎない。
使用中や使用直後は、高温部（ロストル・水槽・メインバーナ等）には触れない。
焼面から高温の排気熱が出ていますので顔や手を近づけない。

炎や熱及び機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。やけどに
注意してください。
特に小さい子供がいる場合ではやけどに注意してください。



■ 使用上の注意

ロストルの取り扱いには別売の専用持ち上げ金具を使う。



ぬれふきんなどで持つと、やけどをすることがあります。

■ 使用上の注意

機器に付属のロストル以外は絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。



過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

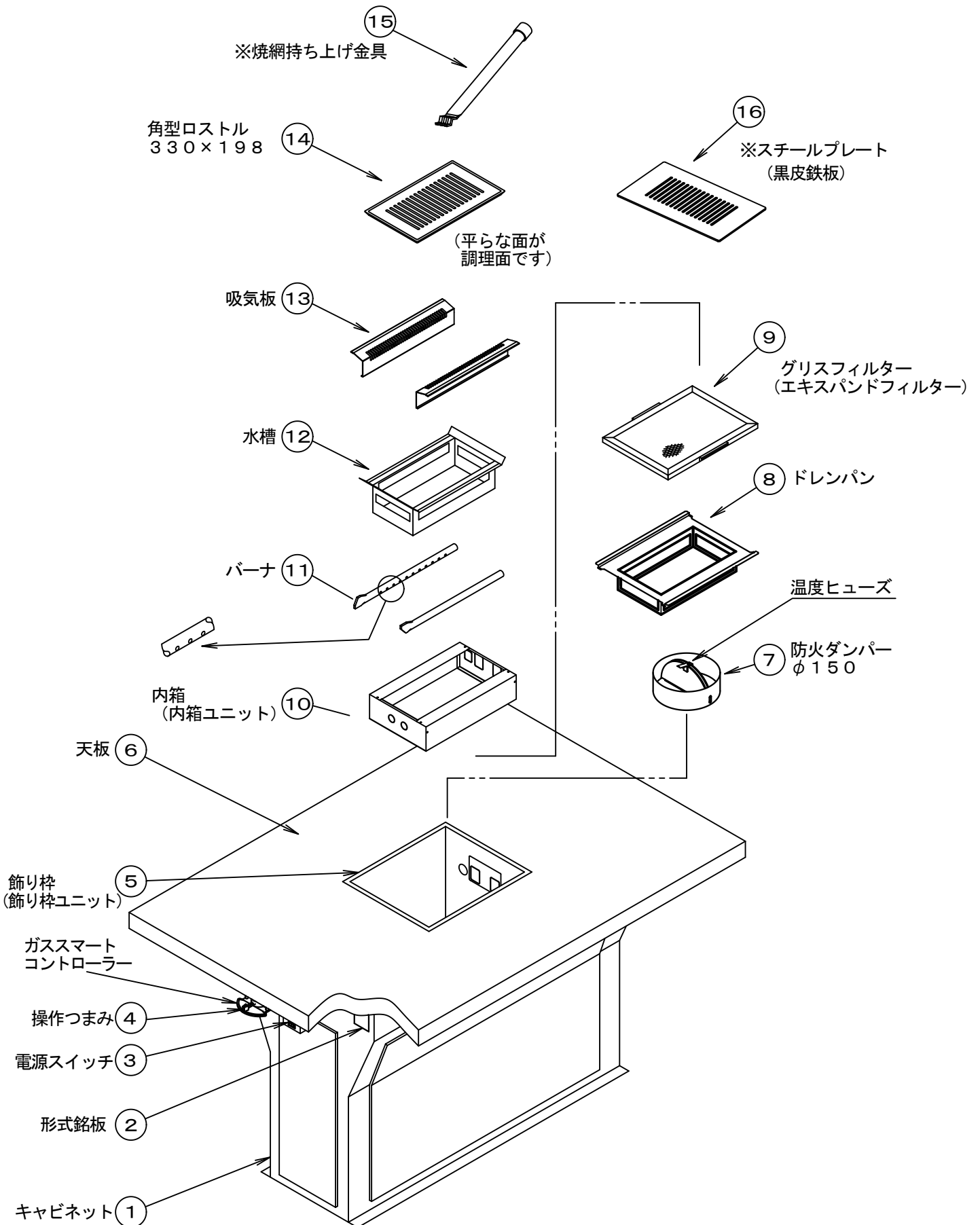
- ・ 補助具はこの料理器用の付属品以外を使用しないでください。
- ・ バーナの装着方向を間違えないでください。(4ページ参照)
- ・ グリスフィルターを洗浄してください。
- ・ グリスフィルターの入れ忘れに注意してください。
- ・ ロストルに焦げ付いた付着物が激しく燃え上がった時は、新しいロストルと交換してください。

お願い

- ・ 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- ・ 使用後は消火と、器具栓つまみが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じて、機器の電源スイッチおよび外部送風機のスイッチを最後に切ってください。火が立消えた状態で放置されるとガスがもれ続け、爆発のおそれがあります。

各部の名称と仕様 1

※⑮焼網持ち上げ金具、⑯スチールプレート（黒皮鉄板）は別売品です。



■ 各部の名称と仕様 2

■ 付属品

No.	部品名称	数	はたらかき
①	キャビネット	1	本機器の脚部品
②	形式銘板	1	製品番号、ガス種、消費量等を表示している部品
③	電源スイッチ	1	本機器への通電を入り切りする部品
④	操作つまみ	1	点火及び火力調節用のつまみ
⑤	飾り枠（ユニット）	1	防火ダンパー・グリスフィルター・内箱を受ける部品
⑥	天板	1	テーブル
⑦	防火ダンパー φ150	1	機器の内部温度が異常に上昇した場合、強制的に吸込みを遮断する部品
⑧	ドレンパン	1	グリスフィルターで補集した油を受ける部品
⑨	グリスフィルター (エキスパンドフィルター)	1	ダクト内への油脂分の浸入を防ぎ、補集する部品
⑩	内箱ユニット	1	水槽、バーナを受ける部品
⑪	バーナ	2	安定した炎を出す部品 (炎口が中央に向くようにセットしてください（4ページ参照）)
⑫	水槽	1	水を入れて油や肉汁を受ける部品
⑬	吸気板	2	油煙の吸込み口となる部品
⑭	角型ロストル 330×198	1	調理用部品（平らな面が調理面です）

■ 別売品

⑮	焼網持ち上げ金具	1	ロストル持ち上げ専用金具【別売品】
⑯	スチールプレート	1	（ロストル）調理用部品（黒皮鉄板）【別売品】

■ 消耗品

バーナ・角型ロストル・スチールプレート（別売品）・吸気板・温度ヒューズ120℃
グリスフィルター（エキスパンドフィルター）・防火ダンパーφ150

■ 各部品について

いたんできたら交換してください。お求めの場合は、お買い上げの販売店へお問合せください。購入先が不明の場合は、弊社にご相談ください。

部品名称	品番
バーナ	MDR-140-000068
角型ロストル（330×198）	G-41-000822
グリスフィルター	S-10K-000022
防火ダンパーφ150	PDD-000024
温度ヒューズ120℃	PDD-000025
吸気板	MDR-140-000021
水槽	MDR-140-000053
内箱ユニット	99-0140
ドレンパン	MDR-140-000024
焼網持ち上げ金具	S-103-000810

※2024年4月現在の仕様です。仕様は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 各部の名称と仕様 3

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容
製 品 名	ガス無煙ロースター 角型ロストルタイプ
品 番	MDR-140
点 火 方 式	連続スパーク点火方式 (AC100V)
プ レ ー ト 寸 法	330mm×198mm
排 気 風 量	5.3m ³ /min
機 器 静 圧	150Pa (15mmH ₂ O)
吸 込 風 速	3.3m/sec
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	2.40W
電 源 コ ー ド の 長 さ	2m
ダ ク ト 接 続 口	呼び径φ150
安 全 装 置	過熱防止装置・逆火防止装置(ガス遮断)・防火ダンパー
外 形 寸 法 (標 準 品)	奥行1200×幅800×高さ700 (mm)
質 量 (標 準 品)	約50kg

使用ガス	1時間あたりのガス消費量	ガス接続
都市ガス 13A	2.90kW (2,490kcal/h)	おねじ接続 R1/2
都市ガス 12A	2.70kW (2,320kcal/h)	
LPガス	3.00kW (0.22kg/h)	

※機器のガス取入口はおねじR1/2となっていますので、以下の項目に注意して金属可とう管または金属フレキシブルホースで、ガス接続してください。

- ①ガス種が都市ガスの場合、ガス接続に金属可とう管を使用してください。また、その金属可とう管は(一財)日本ガス機器検査協会の合格表示のあるものを使用すること。
金属可とう管による接続工事は、(一財)日本ガス機器検査協会が実施している講習会(ガス可とう管接続工事監督者講習会)を終了した者のもとで行う。
- ②ガス種がLPガスの場合、ガス接続に金属フレキシブルホースを使用してください。
また、その金属フレキシブルホースは(一財)日本エルピーガス機器検査協会の合格表示のあるものを使用すること。
金属フレキシブルホースによる接続工事は、液化石油ガス法第38条の7(液化石油ガス設備工事の作業に関する制限)により、液化石油ガス設備士が行う。

■ 設置について

■ 設置前の準備

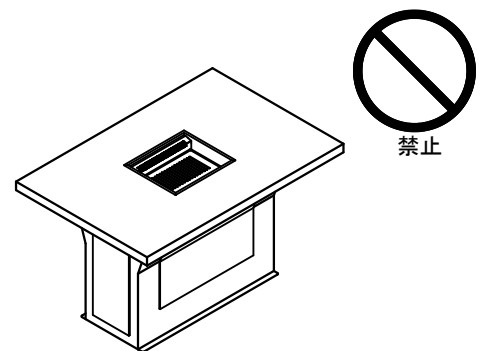
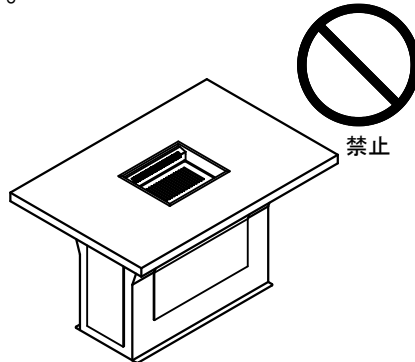
- ・ 機器をダンボールから取り出し、梱包物をすべて取り除き、付属品を確認してください。
- ・ グリスフィルターを確実に装着してください。

■ 設置方法

- ・ 機器の設置、移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けてください。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避けください。照明器具のかさ等が変形することがあります。



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認（4ページ参照）
- ・ 電源コード接続の確認
- ・ 内箱の装着方向の確認（逆に入れるとバーナが装着できません。4ページ参照）
- ・ バーナの装着方向の確認（炎が出る小さい穴が中央に向くように装着。4ページ参照）
- ・ 水槽に水を1000mL入れてください。（目安：横の角穴下ラインより1cm）
（水槽に水を入れるときはバーナにかからないように入れてください。万一、バーナの炎口にかかった場合は、バーナを取り外して乾いた布などでよく拭き取ってください。）
※炎口部が水などでふさがっていると、点火する際に出口を失ったガスがバーナから逆流し、機器内部を焼損するおそれがあります。
- ・ 機器および機器周辺の確認
※キャビネットの穴は絶対にふさがらないでください。正常に燃焼しなくなります。

■ 操作のしかた

- ① ガス栓を開けてください。
 - ② 油煙吸込み用の外部送風機を作動させてください。
- ※ 外部送風機を作動させ、油煙吸込みができる状態にしてからバーナに着火してください。外部送風機が作動していないと、一酸化炭素中毒になる場合があります。
- ③ 電源スイッチを入りにしてください。
 - ④ 点火は、操作つまみを「OFF」から「ON」の方向へ「カチッ」となるまでゆっくりとスライドして、「チッチッチ」という音とともに点火を開始します。
左右両方のバーナに着火したことを確認してから、ゆっくり手を離してください。
- ※ 点火しない場合、「ゴー」という異常音がする場合は、「故障・異常の見分け方と処置方法」（12ページ）を参照して処置してください。何度も点火操作を繰り返すとガスが溜まり危険です。
- ⑤ ご使用中もときどき正常に燃焼しているか確認してください。
 - ⑥ ご使用中も水量を確認し、調理中でも水量が少なくなっていれば消火し、ロストルを外して水を追加してください。
（参考：水槽に水1000mL入れて約1.5時間）
 - ⑦ 消火は、操作つまみを「OFF」の位置にして「カチッ」と音がするまでもどし、消火したことを確認してください。
 - ⑧ 機器の電源スイッチ及び外部送風機のスイッチを最後に切ってください。

■ ご使用方法

■ 火力の調節

- 火力調節は3段階（大・中・小）に調節できるようになっています。
※火力調節は大・中・小の範囲内でお使いください。範囲内であれば、大・中・小の節度以外でもお使いいただけますが、小火は節度以下にしないでください。立ち消えする場合があります、ガスが漏れ続けて危険です。
小の節度で火が消える場合は、バーナ炎口の清掃又はバーナを交換してください。それでも炎の状態がおかしい時は、販売店か工事業者に連絡してください。
- 空気調節は、あらかじめ最良の状態にしてあります。炎の状態がおかしい時は、販売店か工事業者に連絡してください。

■ 安全装置について

- この製品には、機器内部が高温になった場合にガスを遮断する2つの安全装置が装着されています。
 - 安全装置が作動した場合、「ピッピッピッ」という警告音とともに自動的にバーナへのガス供給を遮断します。
- 1 調理中に燃え上がった炎が吸い込まれ排気温度が高くなると安全装置が働きガスを遮断します。
- 安全装置の作動後は次の動作・確認を行ってください。
 - ① 操作つまみを「OFF」の位置にし、電源スイッチを切り、ガス栓を閉じて運転を停止し、機器が冷めるまでしばらく放置しておいてください。
(電源スイッチを切りますと音は止まります。)
 - ② 水槽に水が入っているか確認して、水が適量でない場合は水を注ぎ足してください。
 - ③ 水槽の中へ油脂分が多量に溜まっている場合は、水槽を洗浄してから水を入れてください。
 - ⑤ エキスパンフィルターがつまっている場合は、交換又は洗浄して装着してください
 - ④ 以上の動作を確認後、ガス栓を開き、電源スイッチを入れ点火操作を行ってください。

注：吸込み風量が減ると作動しやすくなります。頻繁に起こる場合は排気ファン能力低下等が考えられます。お買い上げの販売店にご相談してください。

2 逆火時加熱防止装置

点火時及び使用直後にバーナのガス入口付近で異常燃焼した時に「ピッピッピッ」という警告音とともにガスを遮断します。

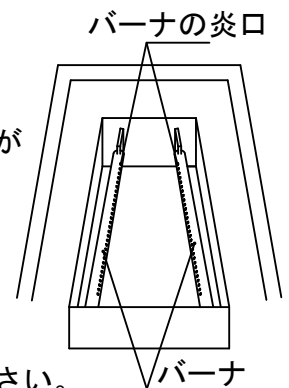
主な原因：水槽に水を入れるときバーナに水がかかり炎が出る炎口をふさがっている。

バーナの炎口に油やタレ等がつまっている。

バーナ差込口に油等で内部にごみ等がある

バーナ内部が錆び、油かす、汚れ等がある

- 安全装置の作動後は次の動作・確認を行ってください。
 - ① 操作つまみを「OFF」の位置にし、電源スイッチを切り、機器が冷めるまでしばらく放置しておいてください。
(電源スイッチを切りますと音は止まります。)
 - ② バーナを取り外し炎口、バーナ内部を清掃してください。
 - ③ バーナ差込口にごみ等付着つまっていないか点検してください。
 - ④ バーナを装着してバーナに着火することを確認してください。



お客様ごとに両側のバーナに着火端まで燃焼することを確認してください。使用中も時々両側のバーナで燃焼していることを確認してください。



バーナの差込口に油かすが固まって付着している状態。1次空気の取入れ、バーナへのガスの流れが悪くなり、場合によっては根元で燃える場合があります。
(清掃：つまようじ等で手前にかき出してください)



綺麗な状態

■ ご使用方法

■ 角型ロストルの使用前の準備方法

新品の角型ロストルには、サビ発生の防止策として、食品衛生法に適合した塗料が塗布してあります。使用するうちに取れていき、表面を強くこすると、塗料が粉状になって取れることがあります。異常ではありません。

※この塗料にはフッ素加工のような機能はございません。

《購入後初めてご利用になる前に》 ※この作業は最初の1回だけ行ってください。

▲角型ロストルは専用器具にセットしてください。専用器具以外でのご使用はお控えください。

▲角型ロストルは急加熱や急冷をしないでください。変形や割れの原因となります。

▲室内で行う場合は、換気扇、排気ファンなどを運転して換気してください。

①角型ロストルを空焼きします。

②空焼き後、角型ロストルに手をつけられるほどの温度まで冷めてから食器用洗剤と金属製たわしで（ア）しっかりとこすり洗いし、すすいでください。

（イ）注）水をかけたり浸したりなどの急冷はしないでください。割れや変形などの原因になります。

③洗い終わったら再度加熱します。水滴がなくなるまで加熱し、その後、油ならし（シーズニング）を行います。

※初めて加熱した時は、少しニオイや煙が発生する場合がありますが、これは表面の塗料から発生したもので徐々に無くなる現象です。

※加熱すると塗料が変色する場合がありますが異常ではありません。

※塗料は温度の高い所から取れて行きます。残っていても使用上の問題はありませので、そのまま使用ください。

※水分を残したまま放置しないでください。サビの原因になります。

《油ならし（シーズニング）》

①角型ロストル全体に植物油を塗って中火で加熱します。

②煙が出始めたら火を止め角型ロストルを冷まします。

※角型ロストルは高温になっていますので、持ち上げ金具を使用しやけどに注意してください。

③再度、角型ロストル全体にキッチンペーパーなどで植物油を塗ります。溝や凹凸部もムラなく塗ってください。

④キャベツなどの野菜（適量）を炒めてください。鉄のニオイが気になる場合は、ショウガやネギなどの香りの強い野菜を炒めると鉄臭さがとれます。

⑤油が全体に馴染んだら、④で炒めた野菜を捨て、たわし（金属製以外）で水洗い（洗剤は不可）し、サッと中火で短時間空焼きして水分をとばし植物油を塗ります。

■ 角型ロストルの使用後のお手入れ方法

《日頃のお手入れ》 ※毎回の調理使用後行ってください。

①角型ロストルは冷めてから洗浄液につけ置きします。

※角型ロストルは高温になっていますので、持ち上げ金具を使用しやけどに注意してください。

※すぐに手洗いするよりもしばらくつけ置きして焦げ付きを柔らかくすることで汚れが落ちやすくなります。なお、業務用でお使いのお客様には当社商品の専用洗剤『鬼の洗濯』をご使用していただくと、よりいっそう汚れが落ちやすくなります。使用後の液体は『中和剤』で処理し廃棄してください。（『鬼の洗濯』の洗浄液は繰り返しご使用いただけます。）

②一晩ほどつけ置きした後、残った洗剤や汚れを水できれいに洗い流します。洗浄機があれば洗浄機にかけた後、すすいでください。洗浄機は一般家庭用の洗浄機でもご使用いただけます。

③洗浄後、水気を取り、油ならし（シーズニング）を数回繰り返してください。

※ご使用後は常にこの作業を行うことで油がしみこみ、サビにくくなります。

※回転ドラム式洗浄機・ブラスト式洗浄機をご使用されると割れる場合がありますのでご注意ください。詳しくは洗浄機メーカーにお問合せください。

※『鬼の洗濯』の洗浄液は効力が無くなったら新しくしてください。廃液は『中和剤』で処理し廃棄してください。

※長時間の空焼きや専用器具以外での加熱は角型ロストルの変形や割れの原因となりますのでお控えください。

※熱した角型ロストルに水をかけるなどの急激な温度変化を与えると変形や割れの原因となりますのでお控えください。

《保管方法》

・日頃のお手入れを行い、新聞紙などで包み湿気の少ない冷暗所に保管します。

再度ご使用の際は表面の付着物や油を水洗いしてからご使用ください。

《サビについて》

鉄製鋳物の製品は非常にサビやすい性質があります。

長期間使用しなかった場合、水分の付着や保管環境によりお手入れをしてもサビが発生する場合があります。

①サビが発生した場合はスポンジまたは金たわしに磨き粉をつけて、サビが出ている箇所をよくこすり、洗い落としてください。

②すすぎ後、水分を拭き取ってすぐに中火で短時間空焼きして水分をとばしてから植物油を塗って保管してください。さらに油ならし（シーズニング）をするとより効果的です。

■ 防火ダンパー・温度ヒューズの交換方法

■ 防火ダンパーの点検

一ヶ月に一度機器より取り外して、羽根から温度ヒューズを外し（温度ヒューズの交換参照）、勢い良く閉まる動作の確認を行ってください。

■ 温度ヒューズの点検

一週間に一度亀裂が入っている等の不具合がないか確認してください。

■ 防火ダンパーの交換

機器より取り外し、新しい防火ダンパーと交換してください。

※新しい防火ダンパーには、温度ヒューズも付属しております。

■ 温度ヒューズの交換

① 2枚の羽根を手でつかみながら、プライヤー等で温度ヒューズを矢印の方向へ引っ張ります。

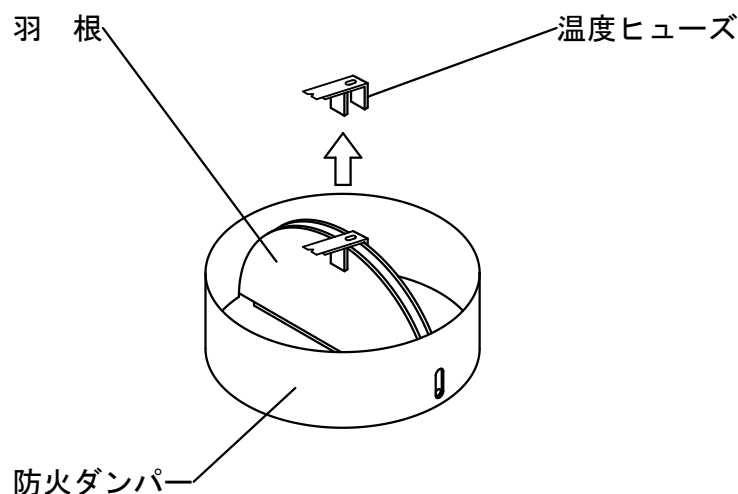
② 羽根をつかんだままで、新しい温度ヒューズの出っ張りが羽根のくぼみに合うように差し込んでください。

注 点検で開閉動作に不具合が発生した場合には洗浄し、動作確認してください。

注 機器清掃時に防火ダンパーが汚れている場合には、洗浄し、動作確認してください。
また、錆びまたは汚れがひどく羽根の動作がにぶくなった場合は新しい物と交換してください。

注 点検・交換後の防火ダンパーの入れ忘れに注意してください。

※洗浄方法は弱アルカリ性洗剤に浸け置きしたあと、水洗いしながら柔らかいブラシでこすり落としてください。
洗浄後は十分に水を切って、良く乾燥させてください。



■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するために日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、電源スイッチを切って機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れされる場合は手袋を着用し行ってください。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
 - ・ 操作つまみにガタ、抜け、破損などの不具合など異常がないか確かめてください。不具合があった場合は新しい物と交換してください。
 - ・ バーナ及びその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
 - ・ 炎を直視して点火し、火力調節の節度を大、中、小に切り替え、それぞれ正常燃焼することを確認してください。節度「小」で火が消える場合は、バーナを新しいものと交換してください。
 - ・ 吸気口・キャビネット及びその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
 - ・ 防火ダンパーの温度ヒューズは一週間に一度、ハンダ付け部分に亀裂が入っている等の不具合がないか確かめてください。不具合があった場合は新しい物と交換してください。
- ※【防火ダンパー・温度ヒューズの点検と交換】9ページ参照
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがないか確認してください。

■ お手入れ

- ・ ドレンパンは、一日に一度洗浄してください。
- ・ グリスフィルターは、ゴミと油を補集する部品ですので、一日に一度洗浄してください。また、油煙の吸込みが悪くなった場合には、すぐに洗浄してください。
- ・ 内箱は、一日に一度洗浄してください。
- ・ 水槽は、油汚れが多くなると不衛生になり、火災発生の原因にもなりますので、一日に一度洗浄してください。また水量を点検し、補給してください。
- ・ バーナおよびその周辺の汚れは、不完全燃焼の原因になるので汚れたら清掃してください。
- ・ 吸気板は、多量の油分が多く付着しますので不衛生になり、火災発生の原因にもなりますので、お客様ごとにふきん等で清掃し、一日に一度洗浄してください。
- ・ ロストルは、油が付着し炭化しますと油煙の原因となりますので、お客様ごとに洗浄又は交換してください。

■ 日常の点検・お手入れ

■ お手入れ

- ・飾り枠、機器内部は、手袋を着用して一日に一度布切れ等で清掃してください。
- ・防火ダンパーは、油脂分が付着すると作動不良になる場合がありますので、一ヶ月に一度ヒューズを取り外し【温度ヒューズの交換方法9ページ参照】、付着している油脂分を取り除いてください。
お手入れと同時に、必ず前項の点検を行ってください。

■ バーナの点検・お手入れ

- ・バーナはバーナの炎口の詰まり、汚れ、穴の消耗、破損などの異常がないか確かめてください。
 - ・お手入れは、穴はつまようじ等の先の尖ったもので清掃してください。
表面は金ブラシ等を使用して清掃してください。
 - ・バーナ内部のごみ等の清掃
- ※ガスの流れが悪くなり逆流してノズルの部分で燃えて逆火センサーが働きガスが止まります。

お願い

バーナの炎口の詰まりや汚れは、点火不良、異常燃焼の原因となりますので一日に一度清掃してください。またバーナの消耗や破損により立消えしやすくなり、ガス漏れの原因となりますので、火力調整の節度「小」にて消えるようであれば寿命ですので交換してください。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象											処置方法				
	ガスの臭いがする	点火しない・ガスは出ない	点火しない・ガスは出にくい	着火・火移りにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように燃える	異常な音をたてて燃える (バックファイヤー)	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える		「ヒッヒッヒッ」とブザーが鳴る	煙の吸込みが悪い	煙を吸込まない	使用中に炎が吹き上がった
ガス栓の開きが不十分	○	○	○												○	ガス栓を全開にする
LPガスがなくなりかけている		○	○	○	○			○		○	○					新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○	○		○				○						点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致			○	○	○	○	○	○	○	○	○					ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない	○	○	○													正しい点火操作を行う
操作つまみの開き不足		○	○					○		○						操作つまみを一度「閉」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○		○	○	○	○	○	○	○						バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い	○	○		○	○	○	○	○	○							バーナを正しく取り付ける
吸気板・水槽等が正しく取り付けられていない		○	○	○						○	○	○	○			吸気板・コンロ等を正しく取り付ける
空だきになり、水槽に水が入っていない														○		使用前には必ず水を入れ、煙を吸込まない時は販売店に連絡
グリスフィルターが詰まっている												○	○	○		グリスフィルターを清掃するか予備品と交換
ダクトの接続不良			○							○	○	○	○			販売店に連絡し正しく取り付ける
防火ダンパーが作動している														○	○	販売店に連絡 (温度ヒューズ 120℃)
外部送風機のスイッチが入っていない													○			外部送風機のスイッチを入れる
電源スイッチが入っていない	○															電源スイッチを入れる
電源プラグが抜けている	○															電源プラグをコンセントに差す
ガス遮断安全装置が作動している										○	○					P8に記載の安全装置の項参照
ガス遮断安全装置の故障										○	○				○	P8に記載の安全装置の項参照 復帰しない場合は販売店に連絡
洗浄時に洗剤が点火プラグに付着した			○													ペーパータオルなどで拭き取るなどして乾燥させてください。
バーナが劣化している				○	○		○		○	○	○				○	バーナを交換する

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントより抜いて保管してください。

■ 廃棄するときは

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■ アフターサービスについて

- サービス（点検・修理など）を依頼される前に
 - ・ サービスを依頼する前に13ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡ください。
 - ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 製品番号・型式番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日、時間帯
- 転居または機器を移設される場合
 - ・ ガスの種類が異なる地域へ転居または移設される場合には、部品交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、必ず買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご相談ください。
 - ・ この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。
- 保証について
 - ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器（ダクト及びダクト配管付帯工事などは除く）の故障にかぎり、買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。
- 消耗品
 - ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（5ページを参照）
- 補修用性能部品の最低保有期間について
 - ・ この無煙ロースターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。
- 連絡先
 - ・ この無煙ロースターをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店が当社へ連絡してください。
- お客様の個人情報の取り扱いについて
 - ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
 - ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。